

自由民主党
東京一区(千代田・港・新宿)

衆議院議員

平成26年7月1日発行
編集発行:山田みき事務所

山田みき 活動ニュース



討論資料

ごあいさつ



●日本版NIH創設について内閣委員会で質問

おかげさまで、通常国会が予定通りの会期を終えました。政府提出の81法案のうち79本が成立、9割を超える法案が成立したのは実に7年ぶりです。一昨年の末の衆院選を始まりに、都議選、参院選、都知事選と、相次ぐ選挙で皆々様からご支援をいただいた結果、政治の安定を取り戻したこと、改めて感謝を申し上げます。

今国会では、平成26年度予算の審議のなかで、地域経済の要である商店街の支援について質問の機会をいただきました。千代田区・港区・新宿区には、全部で200近くの商店街があります。全国的に見ると、都心の商店街は豊かで恵まれていると思われがちですが、どの商店街も大変なご尽力をされているのが実情です。安倍政権発足以降、国の商店街支援策が大幅に拡充されましたが、消費税引き上げ前の一時的なものとせず、

東京オリンピック開催も見据えて、中長期的な継続をお願いしました。

また内閣委員会では、今国会の重要な法案とされた『日本版NIH』、健康・医療戦略推進法案と日本医療研究開発機構法案の一括審議で、与党のトップバッターとして質問に立ちました。ボストンコンサルティンググループに勤めていた頃に国内外の製薬会社のプロジェクトに携わった経験も踏まえて、日本の医療関連産業の国際競争力を高めるための課題を提起し、医薬品・医療機器の研究開発を政府が一丸となって支援するよう訴えました。



●事務局長を務めるインバウンド研究会

自民党内では、政務調査会のもとにあるインバウンド研究会の事務局長を務め、日本を代表する企業から集まった自民党総研の方々と共に、海外から日本に観光客やビジネスマン、留学生を呼び込むための方策について議論を重ねました。2020年に訪日外国人2,000万人を目指して、どうやって日本の魅力を高め海外の人を惹きつけるか、交通ネットワークをはじめ



●『次世代の税制を考える会』から菅官房長官に申入れ

とするインフラ整備の課題をどう克服するか等について提言を取りまとめ、高市政調会長に提出しました。

5月以降は、自民党税制調査会における議論が本格化しました。自民党の若手議員20名が世話人となって『次世代の税制を考える会』が設立され、私もメンバーの一人として、菅官房長官や甘利経済再生担当大臣に、日本の国際競争力強化のために法人税引下げを申し入れました。中小企業の課税強化につながらないよう、秋以降が正念場です。また、『骨太の方針』の議論の過程では、薬価改定のあり方や、今まさに直面しているエネルギー問題についても、私が述べた意見を反映していただきました。

国政に送り出していただいて1年半。1日も早く、皆様の期待に応える政治家になりたいと願いながら奮闘する毎日です。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

今年の上半期で最も多くの
「いいね!」を頂いた写真です。



自由民主党東京都第一選挙区支部長 衆議院議員 山田 美樹

*公式フェイスブック

<https://www.facebook.com/mikiprofile>

*オフィシャルウェブサイト

<http://miki-yamada.com/>

*公式ツイッター

https://twitter.com/yamada_miki

日々の活動の様子や、事務所からのお知らせを随時更新しておりますので、ぜひご覧ください。